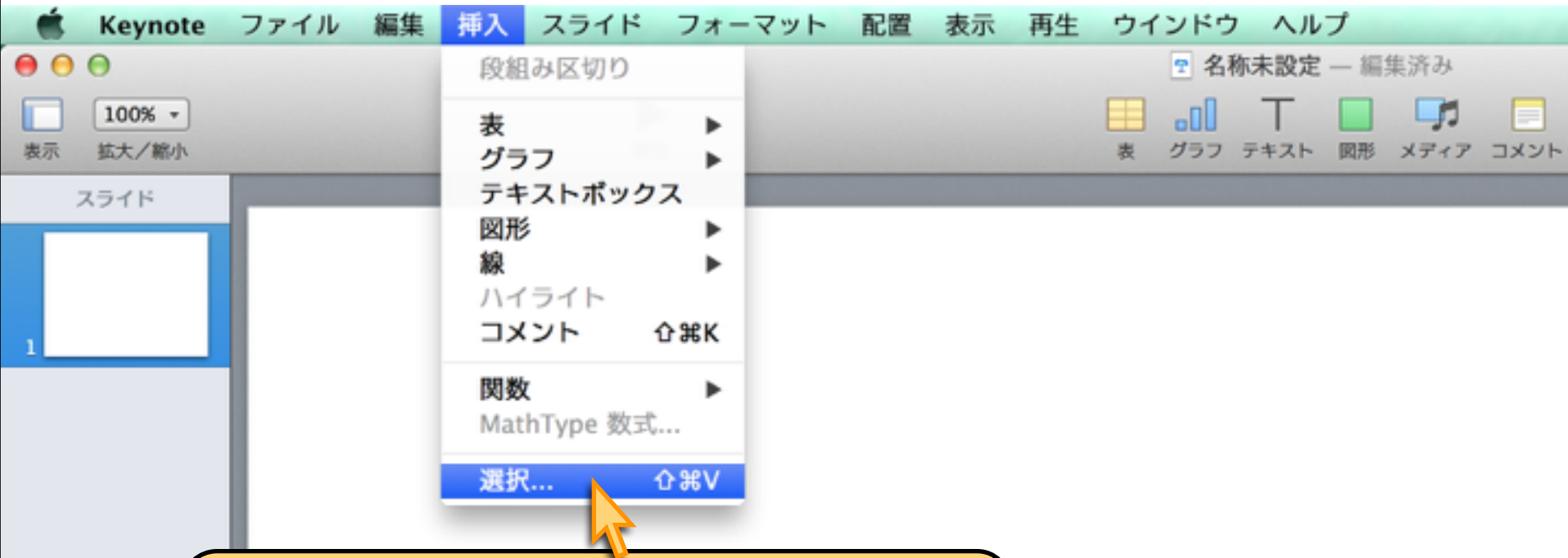




Lesson 3-1 画像の挿入とサイズ調整

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

# 【写真やイラストの挿入方法】



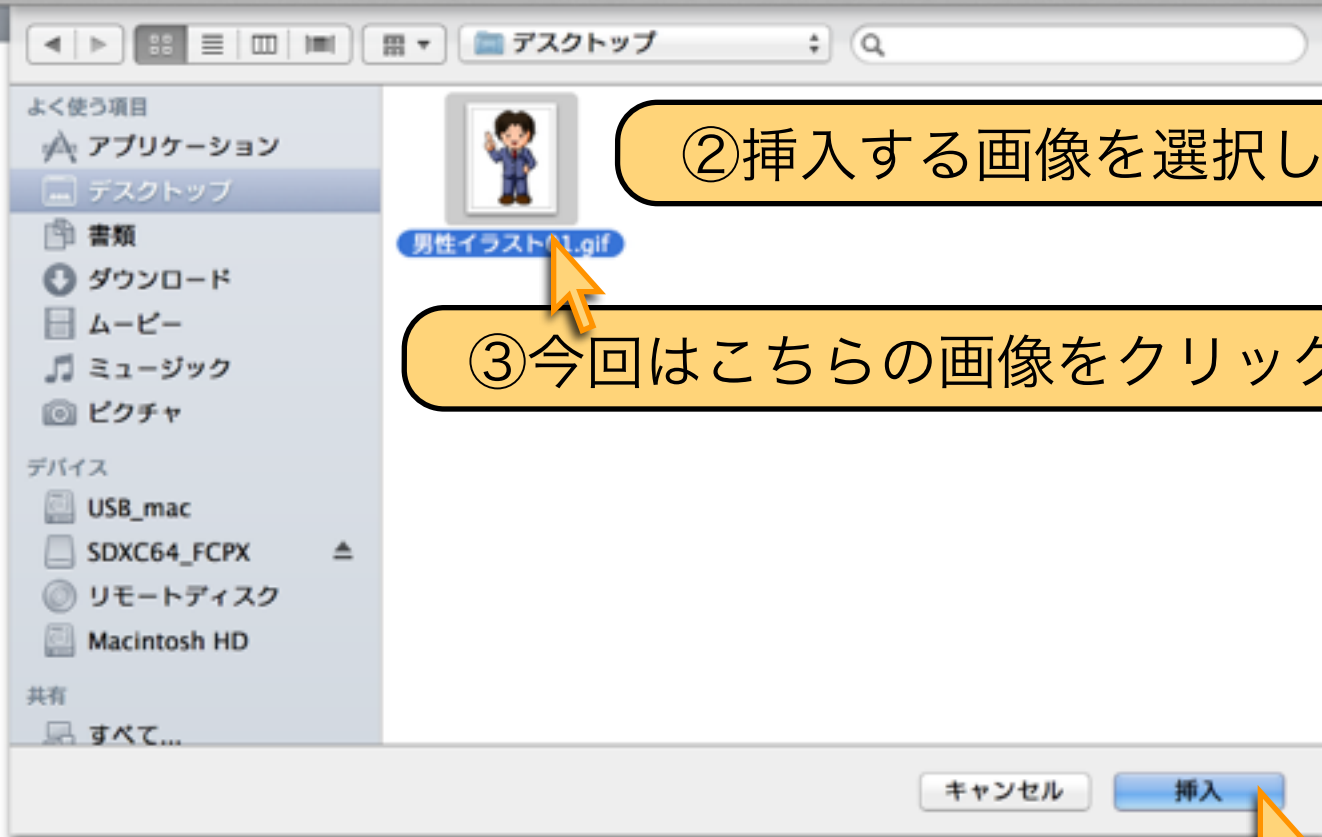
① 【挿入】 — 【選択】 をクリック

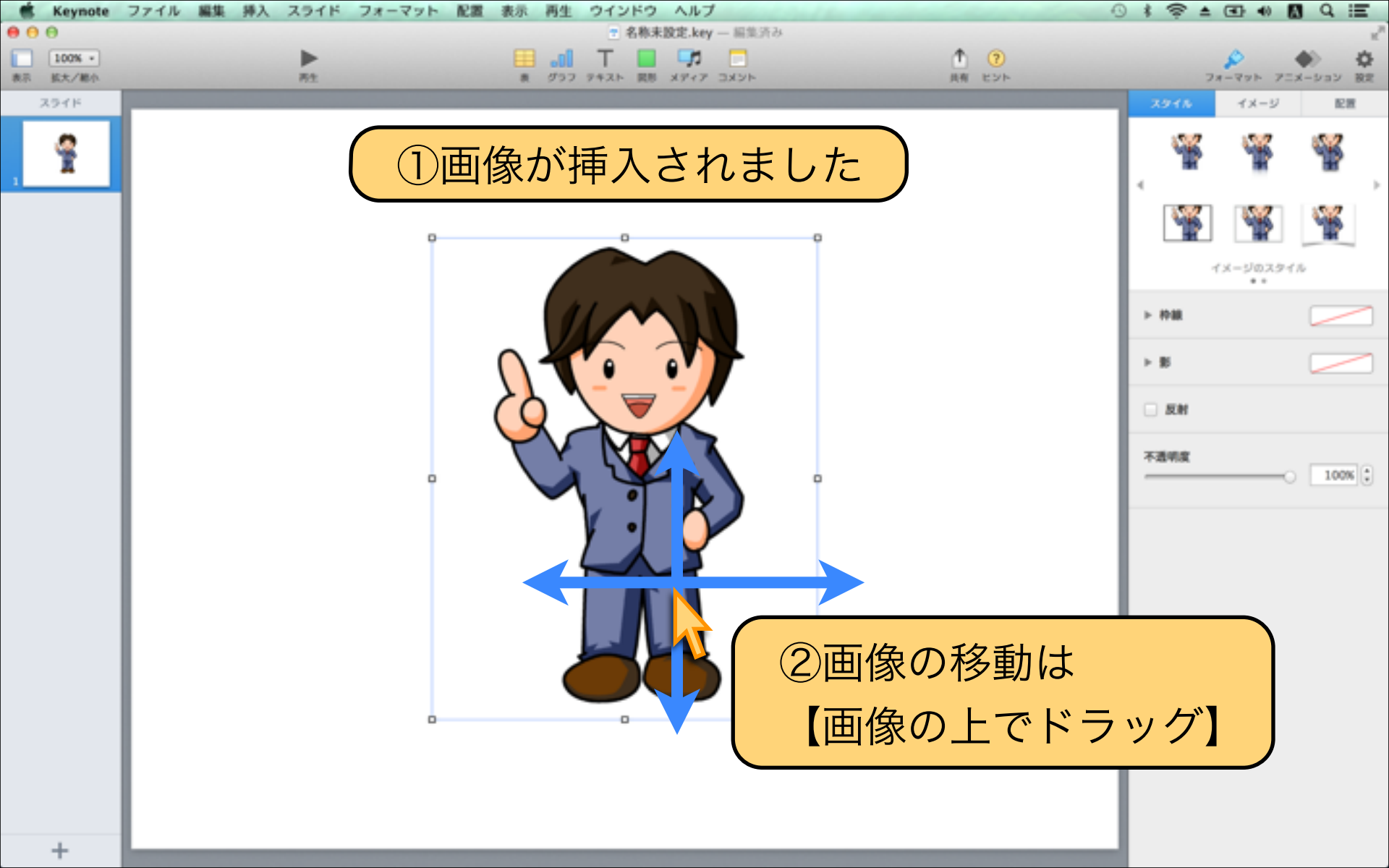
① 【挿入する画像の選択画面】が表示されました

②挿入する画像を選択して下さい

③今回はこちらの画像をクリック

④ 【挿入】 をクリック





①画像が挿入されました



②画像の移動は【画像の上でドラッグ】





## 【画像の拡大と縮小】

①対象の画像をクリック

②選択された画像の周囲に  
【白い小さな四角】  
が表示されます

③【白い小さな四角】をドラッグで  
自由に大きさを調整できます

## 【画像サイズを数値で設定する方法】

① 【フォーマット】 をクリック



② 【対象の画像をクリック】 すると  
インスペクタの表示が切り替わります

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スタイルシート

タイトルとサブタイトル

アビランス

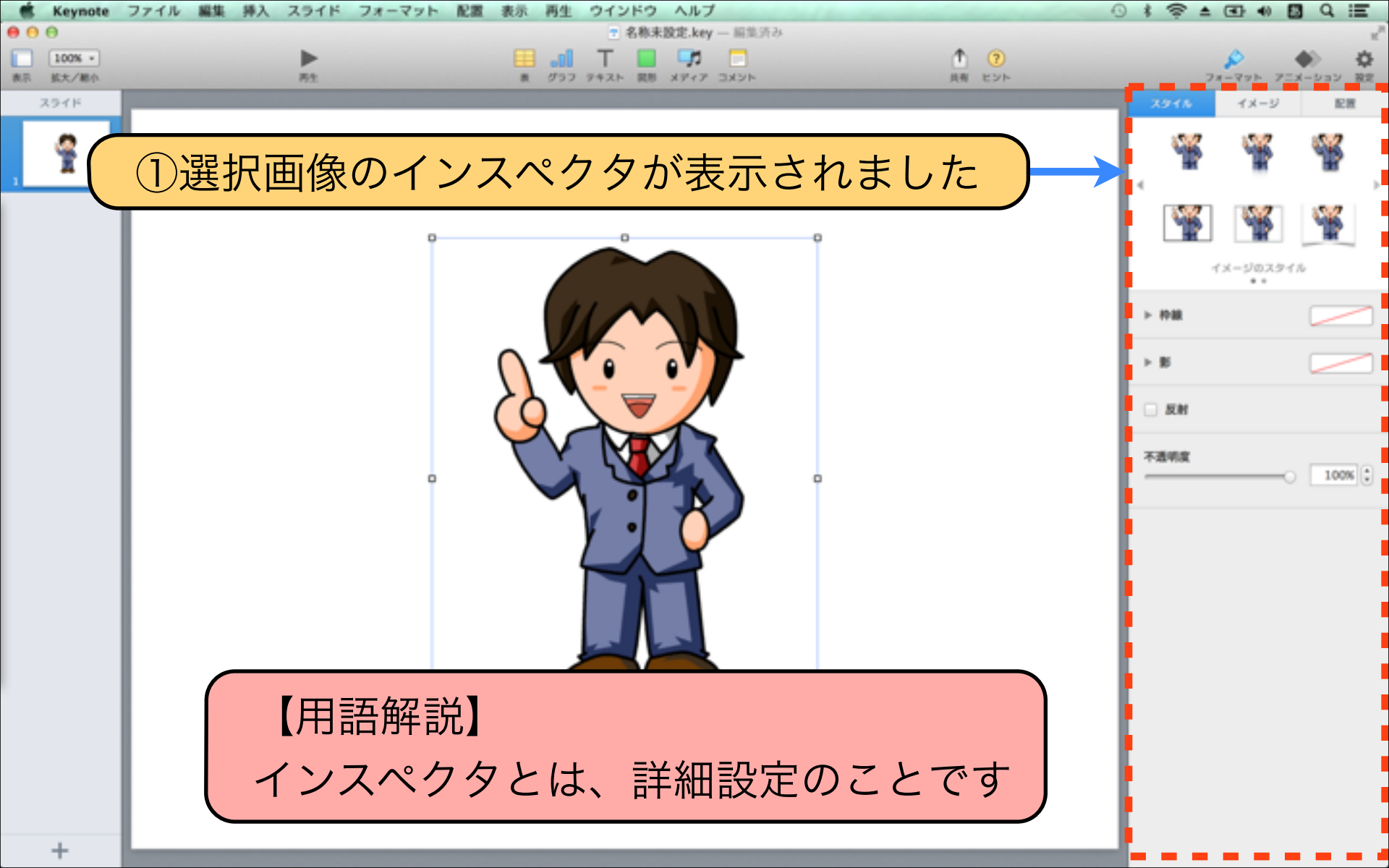
タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集



① 選択画像のインスペクタが表示されました

**【用語解説】**  
インスペクタとは、詳細設定のことです

① 【配置】 をクリック

② 選択されている「画像の情報」が  
表示されています



スタイル イメージ **配置**

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 400 pt 500 pt  
幅 高さ  
 縦横比を固定  
元のサイズ

位置 312 pt 134 pt  
X Y

回転 0° 角度 反転

ロック ロック解除

グループ グループ解除

①今回は画像サイズを「幅200pt 高さ250pt」と入力します

②位置を「X：700pt Y：150pt」と入力



スタイル イメージ 配置

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 200 pt 250 pt  
幅 高さ

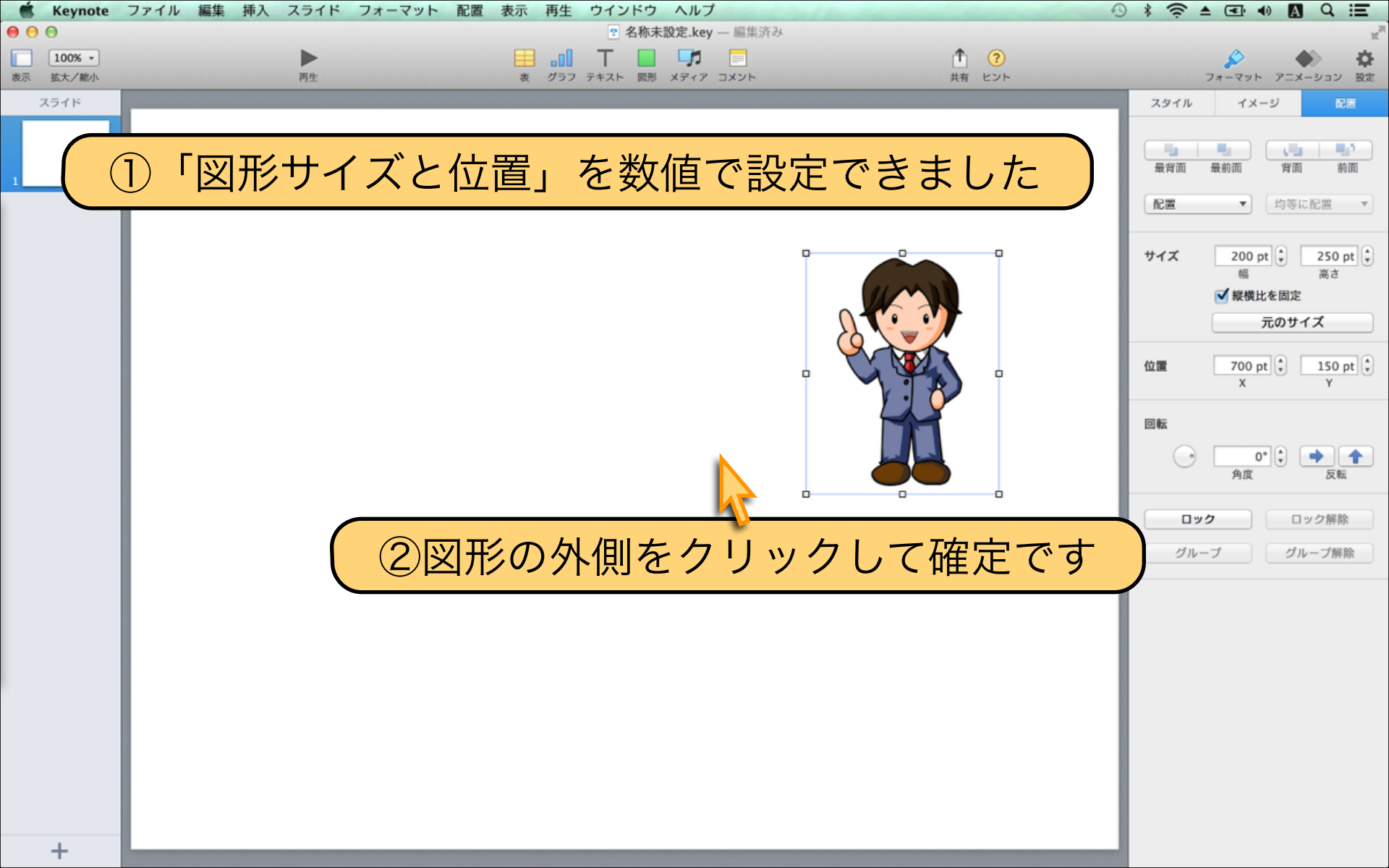
縦横比を固定

元のサイズ

位置 700 pt 150 pt  
X Y

回転 0°

【注意】 数値は「英数キー」を押して、半角で数値を入力します



① 「図形サイズと位置」を数値で設定できました

② 図形の外側をクリックして確定です



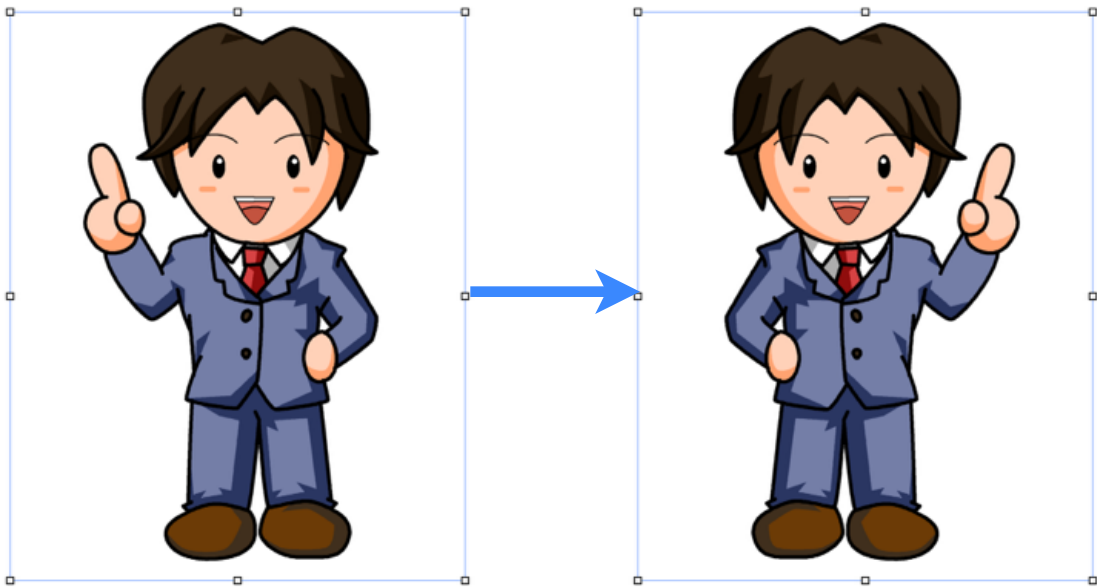
① 「図形サイズと位置」の設定は完了です



### 【ポイント】

直感的に大きさや位置を調整したい場合、  
図形を直接ドラッグして移動させます。  
数値で調整する場合と使い分けましょう。

# 【画像の反転方法】



①反転させる場合は、こちらをクリック

スタイル | イメージ | **配置**

最背面 | 最前面 | 背面 | 前面

配置 | 均等に配置

サイズ | 200 pt 幅 | 250 pt 高さ

縦横比を固定

元のサイズ

位置 | 700 pt X | 150 pt Y

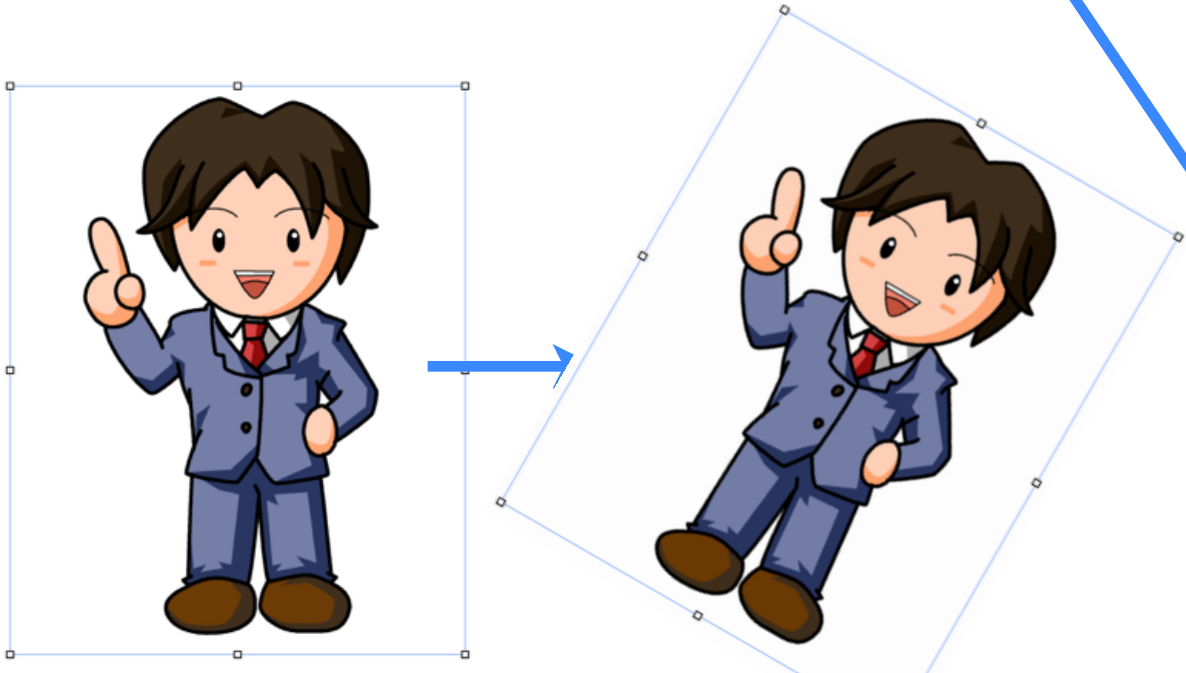
回転 | 0° 角度 | **反転**

ロック | ロック解除

グループ | グループ解除

# 【画像の回転方法】

①画像の回転は、こちらに数値入力です



②角度 = 「-30°」

スタイル | イメージ | **配置**

最背面 | 最前面 | 背面 | 前面

配置 | 均等に配置

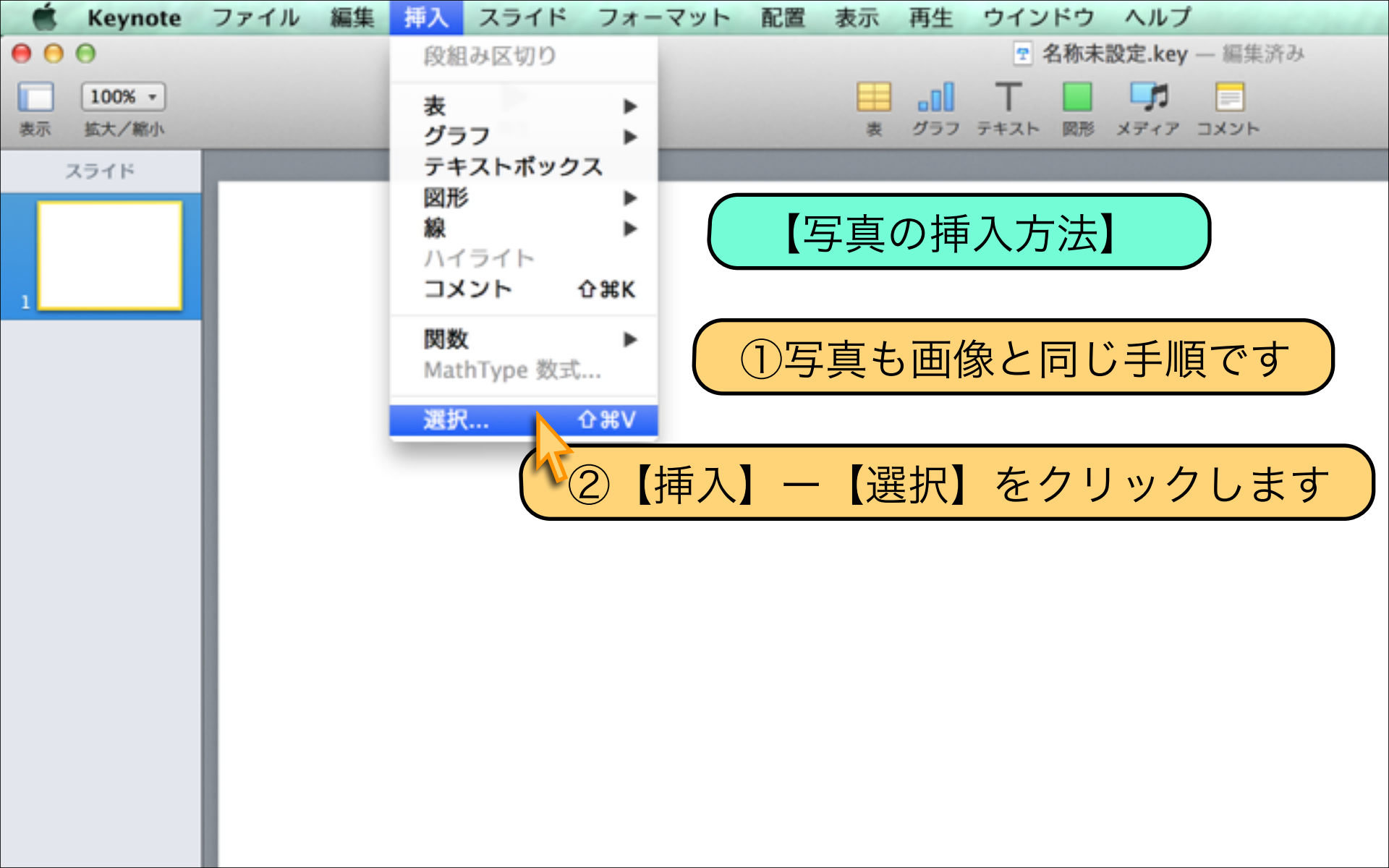
サイズ | 200 pt 幅 | 250 pt 高さ |  縦横比を固定 | 元のサイズ

位置 | 700 pt X | 150 pt Y

回転 |  角度 | 反転

ロック | ロック解除

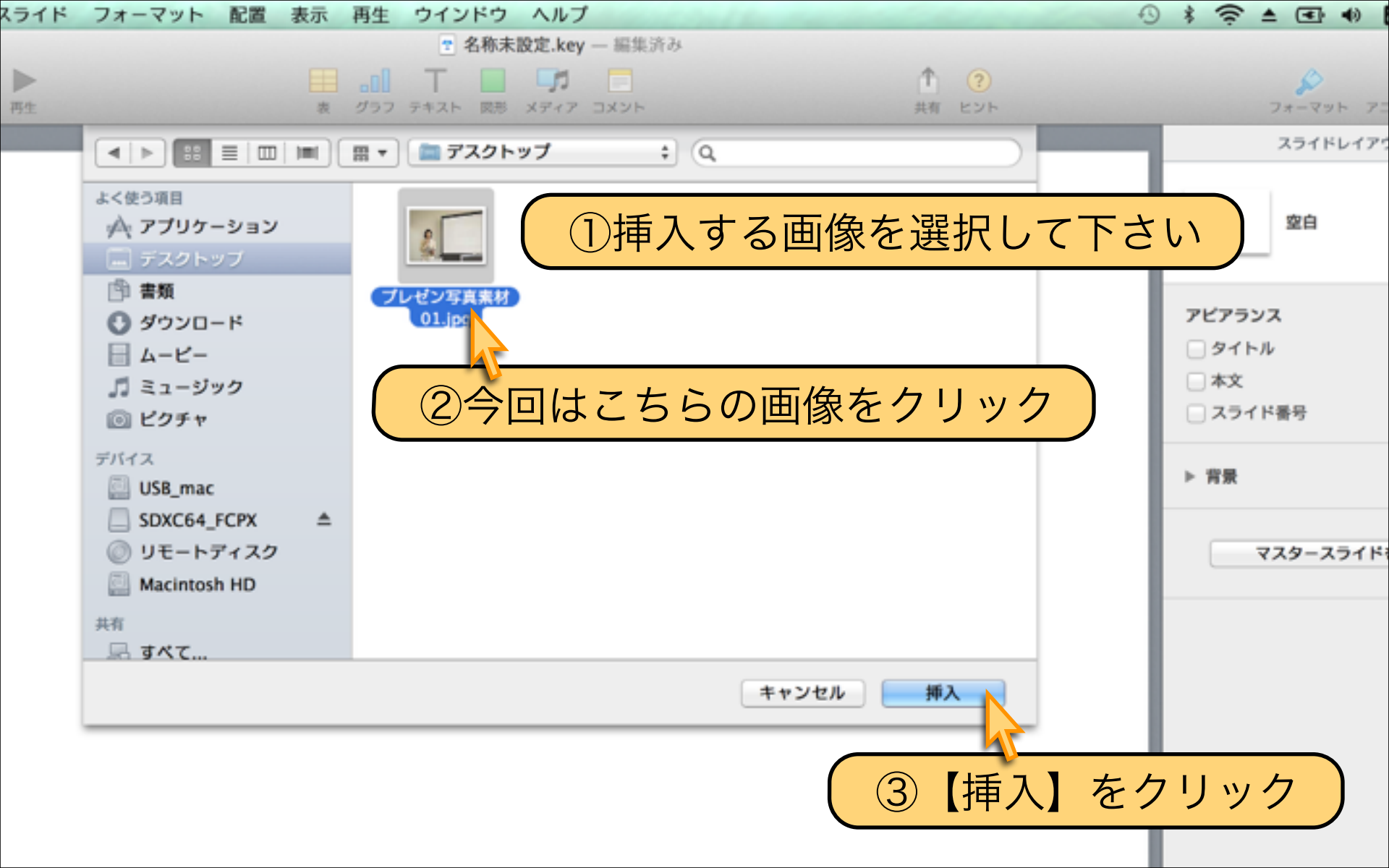
グループ | グループ解除



## 【写真の挿入方法】

①写真も画像と同じ手順です

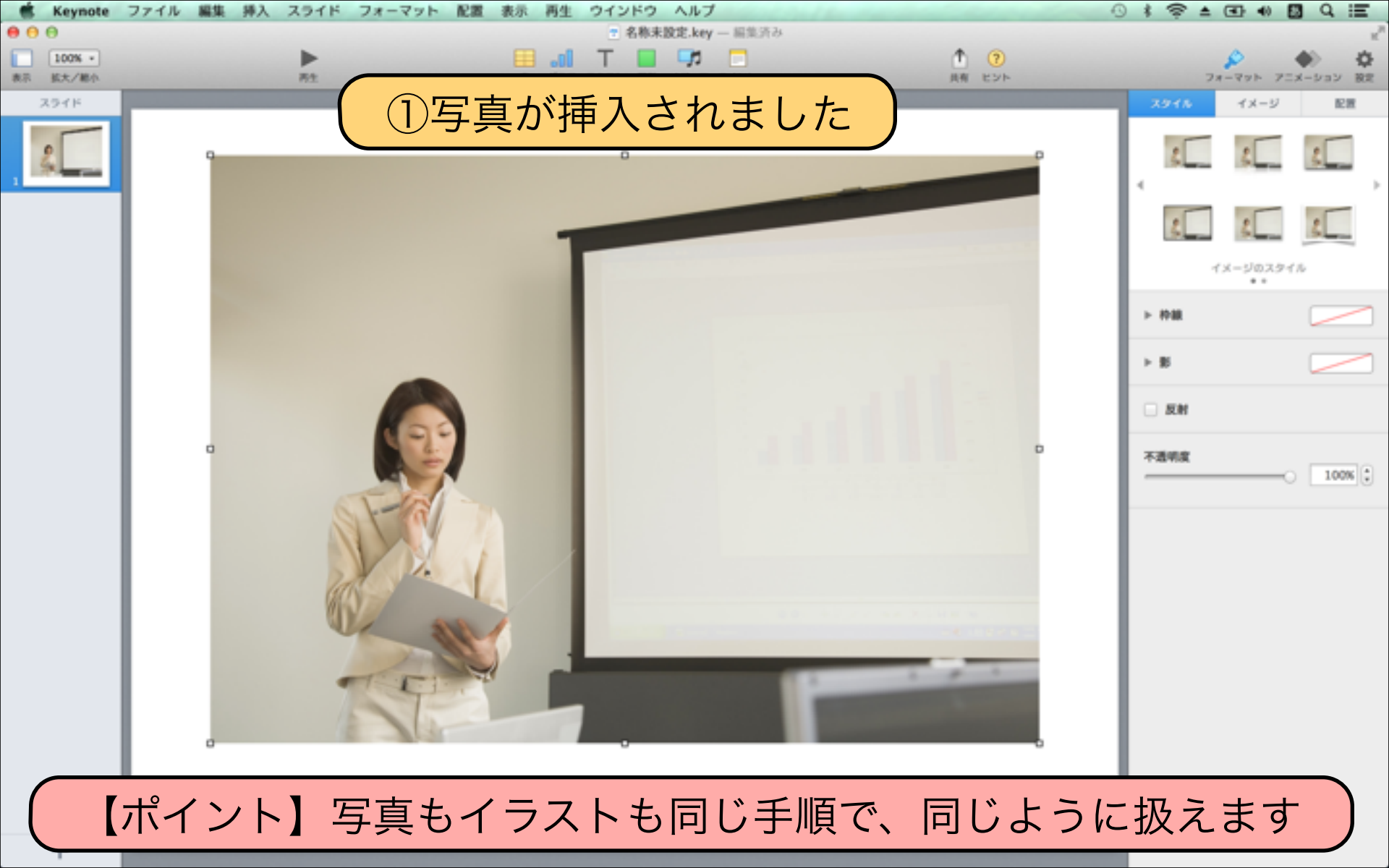
②【挿入】 - 【選択】 をクリックします



① 挿入する画像を選択して下さい

② 今回はこちらの画像をクリック

③ 【挿入】をクリック



①写真が挿入されました

【ポイント】写真もイラストも同じ手順で、同じように扱えます



## 【画像を数値で管理するメリット】



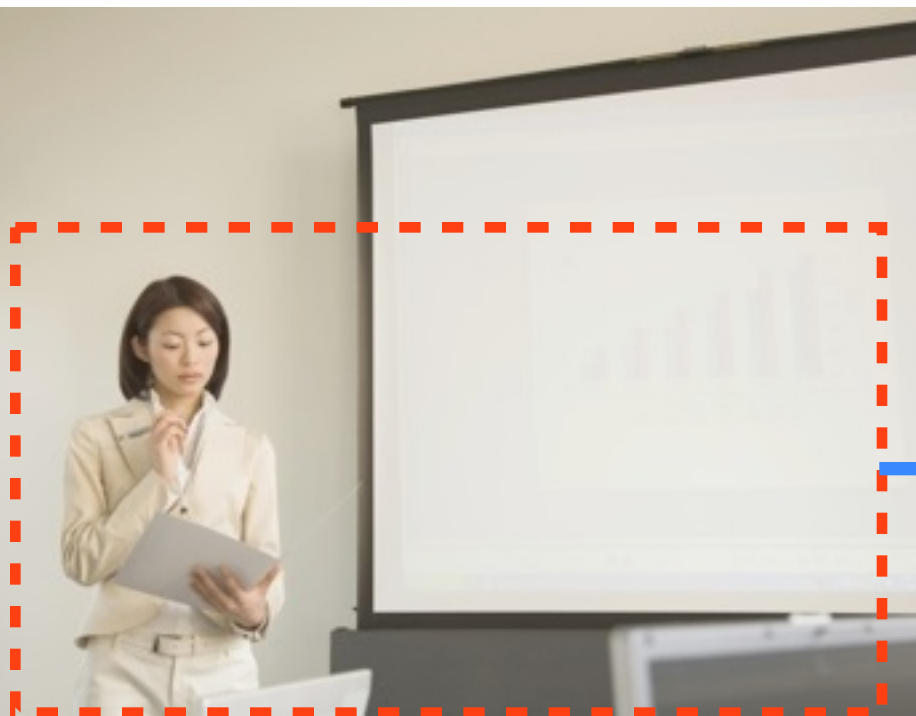
「複数の画像を同じ大きさに合わせる場合」には  
同じ数値で入力すると簡単に作成できます。  
「他のスライドで、同じ位置、同じ大きさ」で  
画像を作成する場合にも数値入力は役立ちます。



Lesson 3-2 写真のマスキング（切り取り）

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

今回は【写真のマスク機能】を紹介します

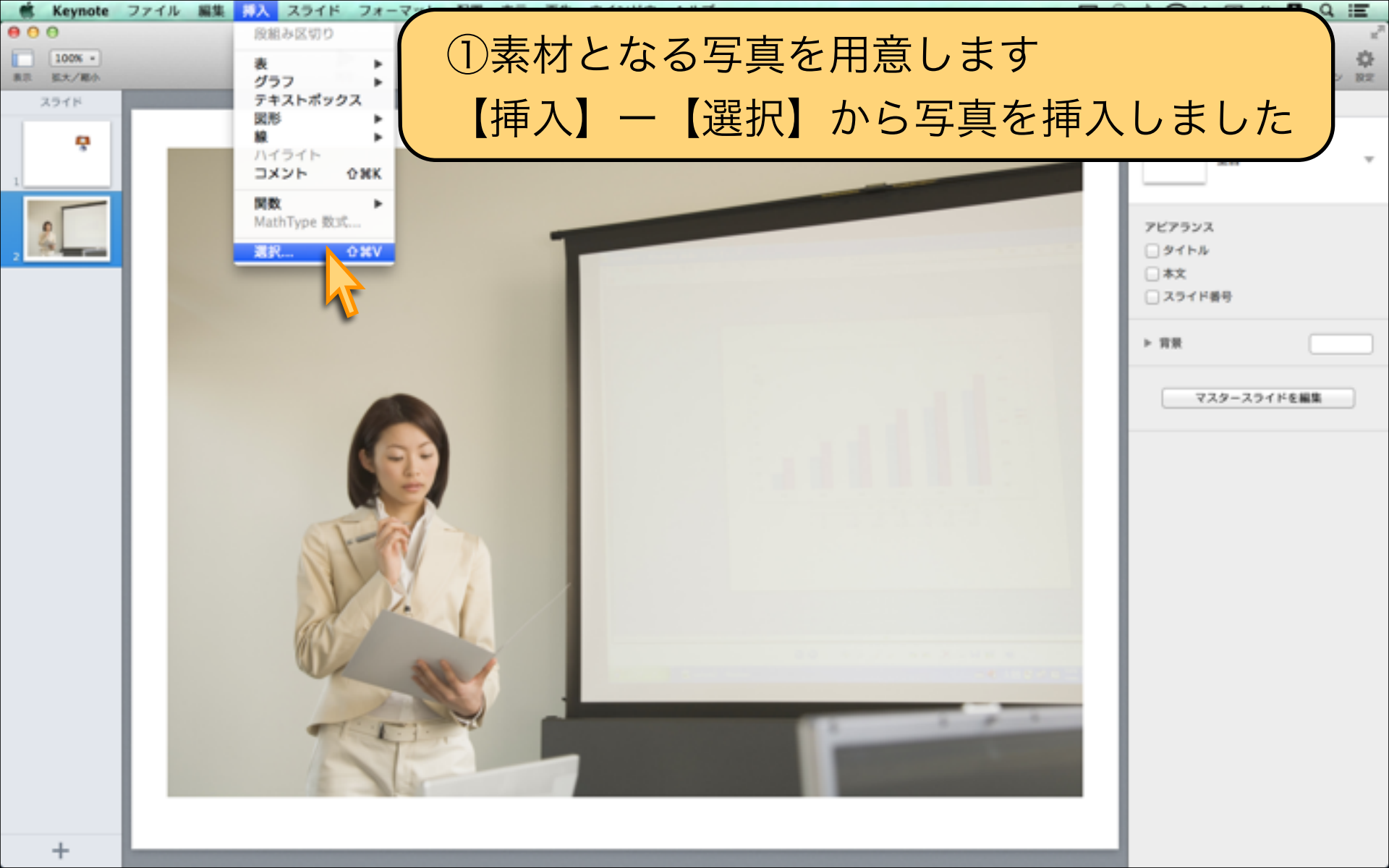


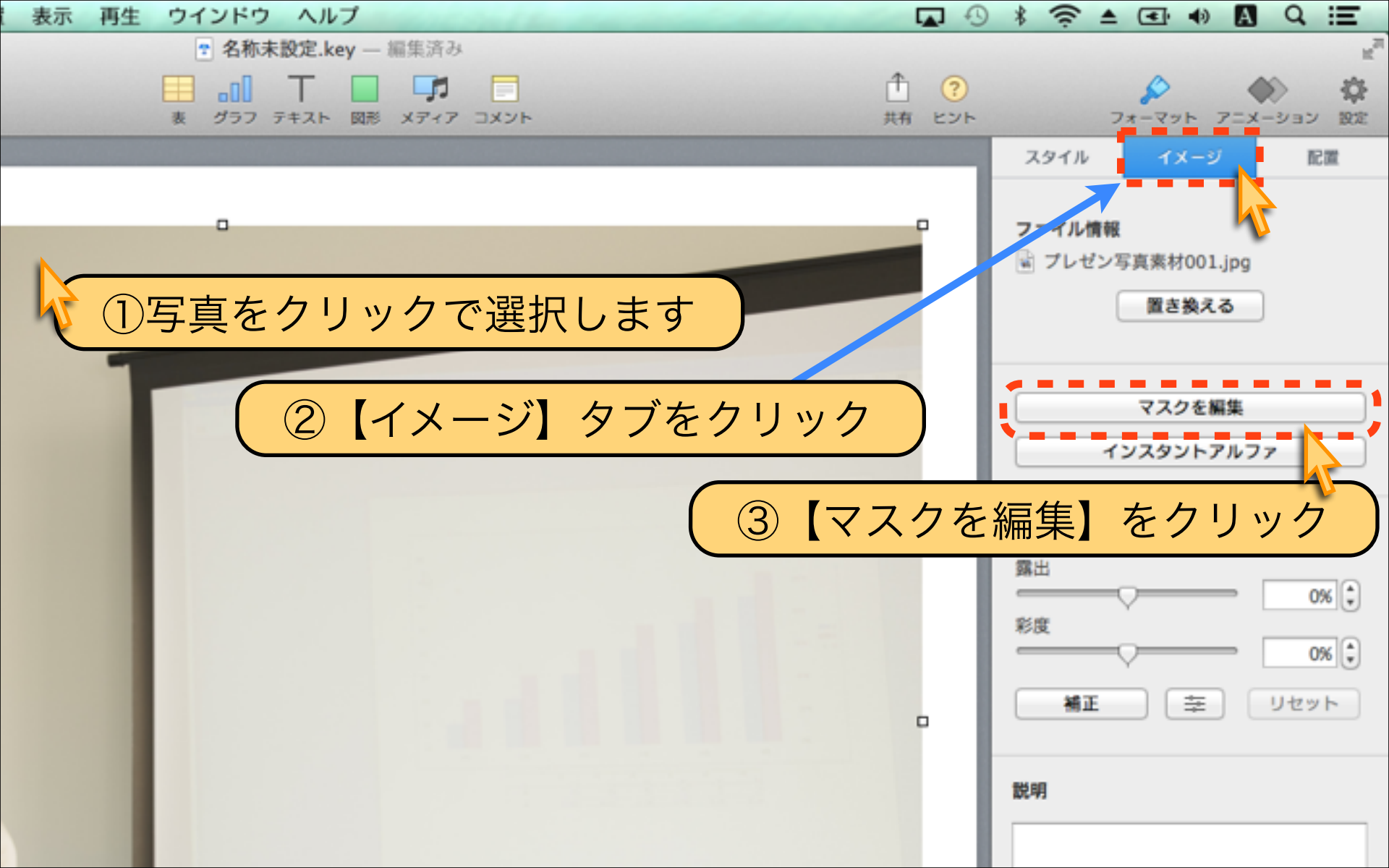
【用語解説】 マスクとは？

写真のマスク機能とは、写真の不要な部分を隠す機能です

①素材となる写真を用意します

【挿入】－【選択】から写真を挿入しました

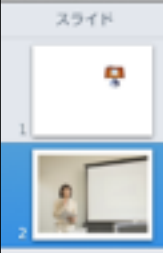




① 写真をクリックで選択します

② 【イメージ】タブをクリック

③ 【マスクを編集】をクリック



①写真の下に【マスク設定ツール】が表示されます



スタイル **イメージ** 配置

ファイル情報  
プレゼン写真素材001.jpg  
置き換える

マスクを編集  
インスタントアルファ

調整  
露出 0%  
彩度 0%  
補正 リセット

説明





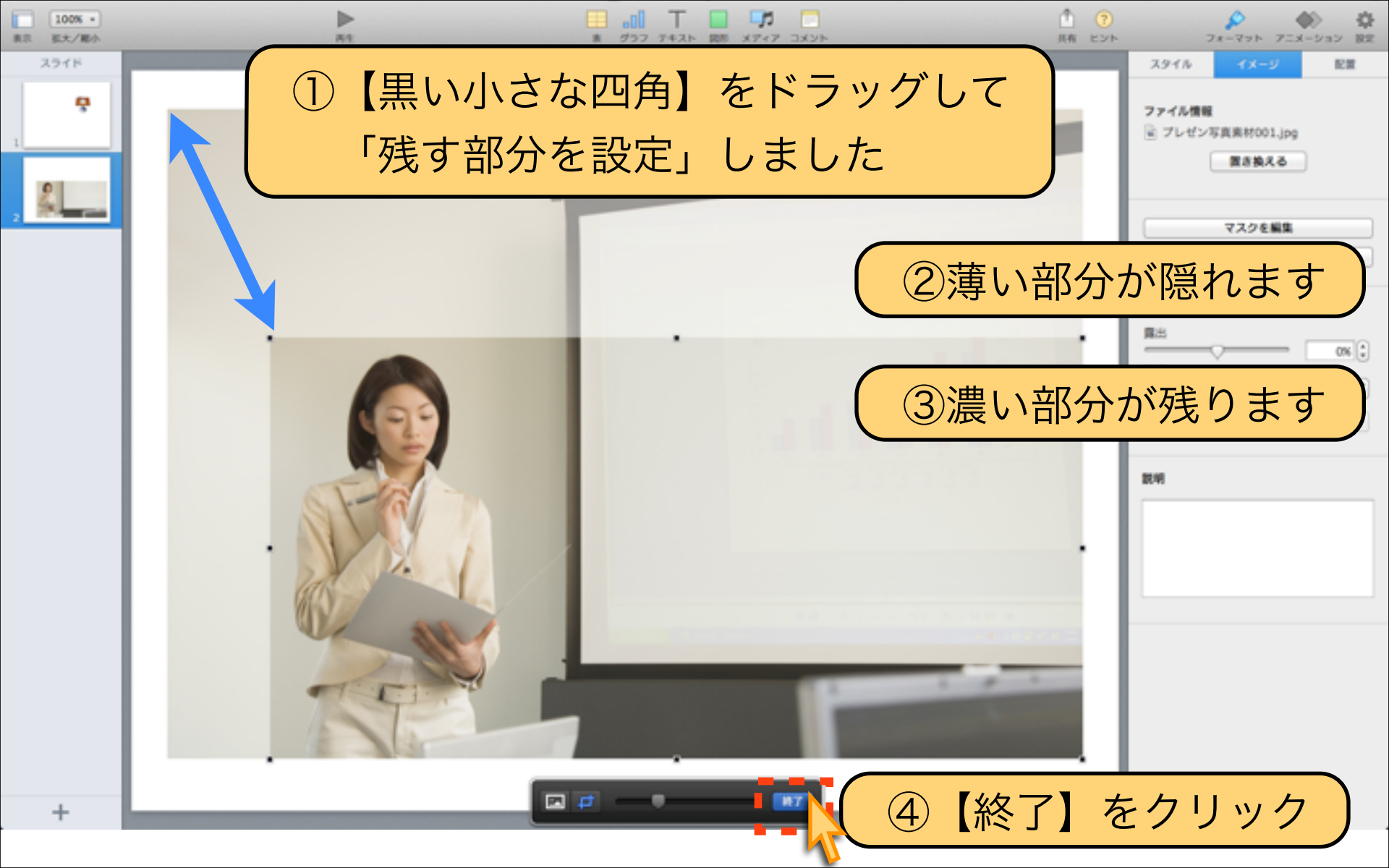
①写真の周囲に表示された【黒い小さな四角】をドラッグして「残す部分を設定」します

① 【黒い小さな四角】をドラッグして「残す部分を設定」しました

② 薄い部分が隠れます

③ 濃い部分が残ります

④ 【終了】をクリック



①マスクの設定完了です

②マスクによって、写真の不要な部分が隠れました



スタイル イメージ 配置

ファイル情報

001.jpg

戻る

マスクを編集

インスタントアルファ

調整

露出

0%

彩度

0%

補正

≡

リセット

説明

説明欄

## 【マスク範囲の修正方法】

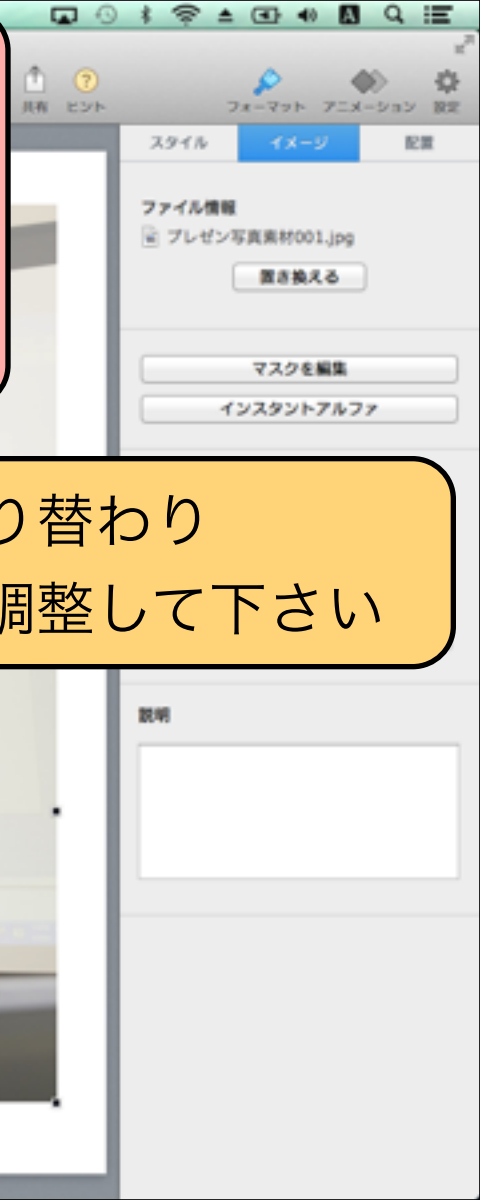


- ① 【写真の上をダブルクリック】 すると再びマスク編集画面に切り替わります

## 【ショートカット紹介】

- 1 : マスク編集へ・・・[写真をダブルクリック]
- 2 : マスク設定完了・・・[returnキー]
- 3 : 取り消す・・・[commandキー]+[Z]

①再びマスク編集画面に切り替わり  
マスク範囲をドラッグで調整して下さい




## 【写真のマスクとトリミングの違い】



トリミングとは、写真を切り抜く機能ですが、マスクとは、不要な部分を隠す機能です。マスクは写真自体には編集を加えないので、何度でも範囲編集できるところがメリットです。

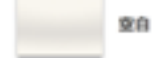




Lesson 3-3 写真に飾り枠を付ける

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

今回は【写真の飾り枠】の追加を紹介します



アビラランス

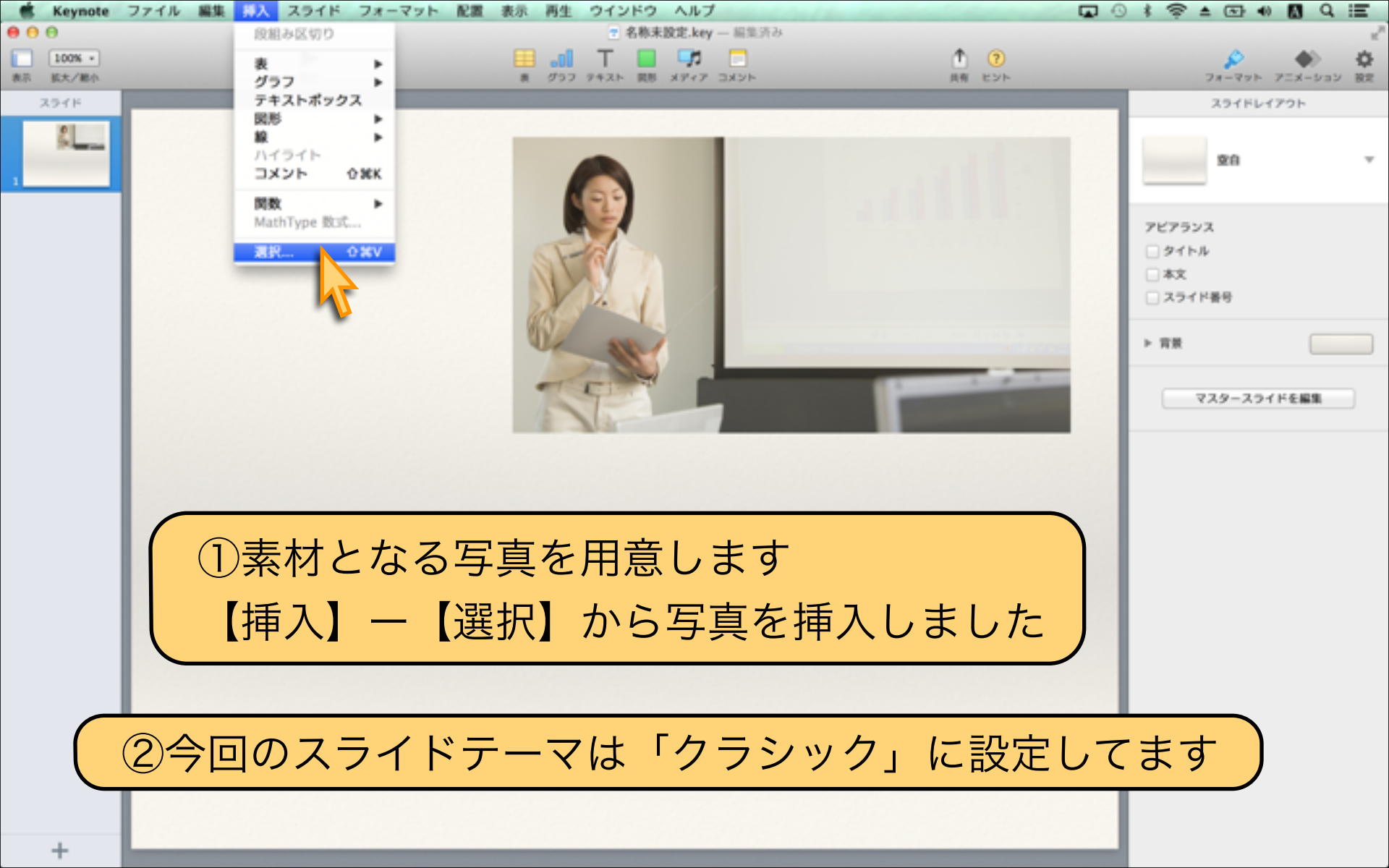
タイトル

本文

スライド番号

背景

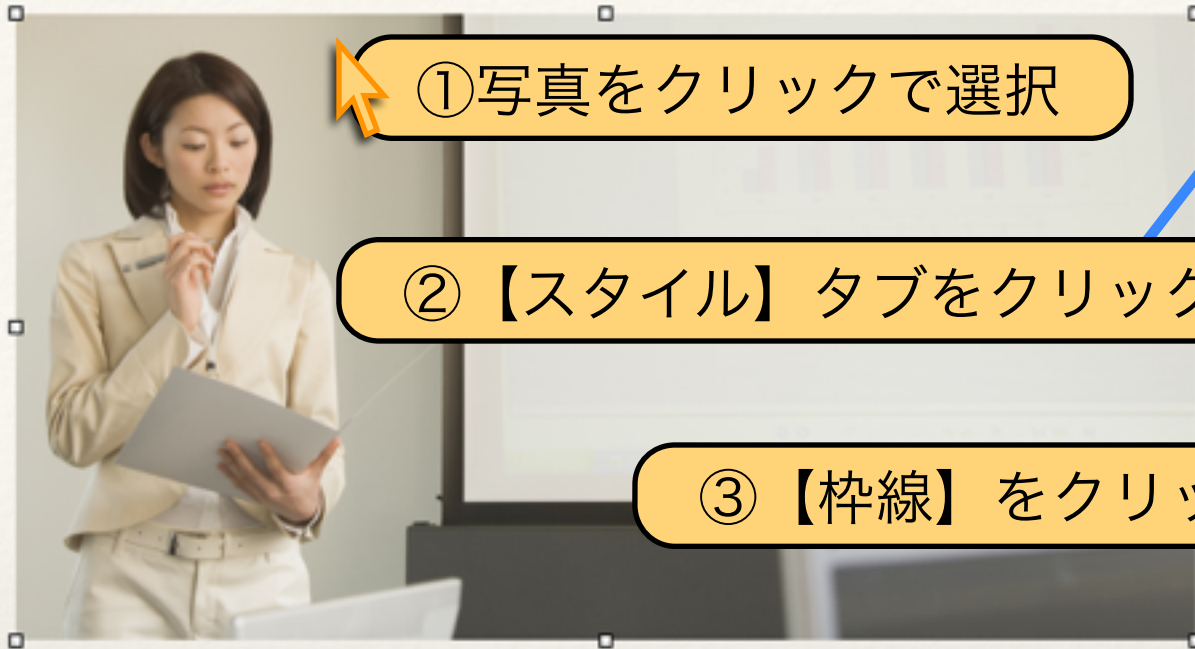
マスタースライドを編集



①素材となる写真を用意します

【挿入】－【選択】から写真を挿入しました

②今回のスライドテーマは「クラシック」に設定してます



① 写真をクリックで選択

② 【スタイル】 タブをクリック

③ 【枠線】 をクリック

スタイル

イメージ

配置

イメージのスタイル

▶ 枠線

影

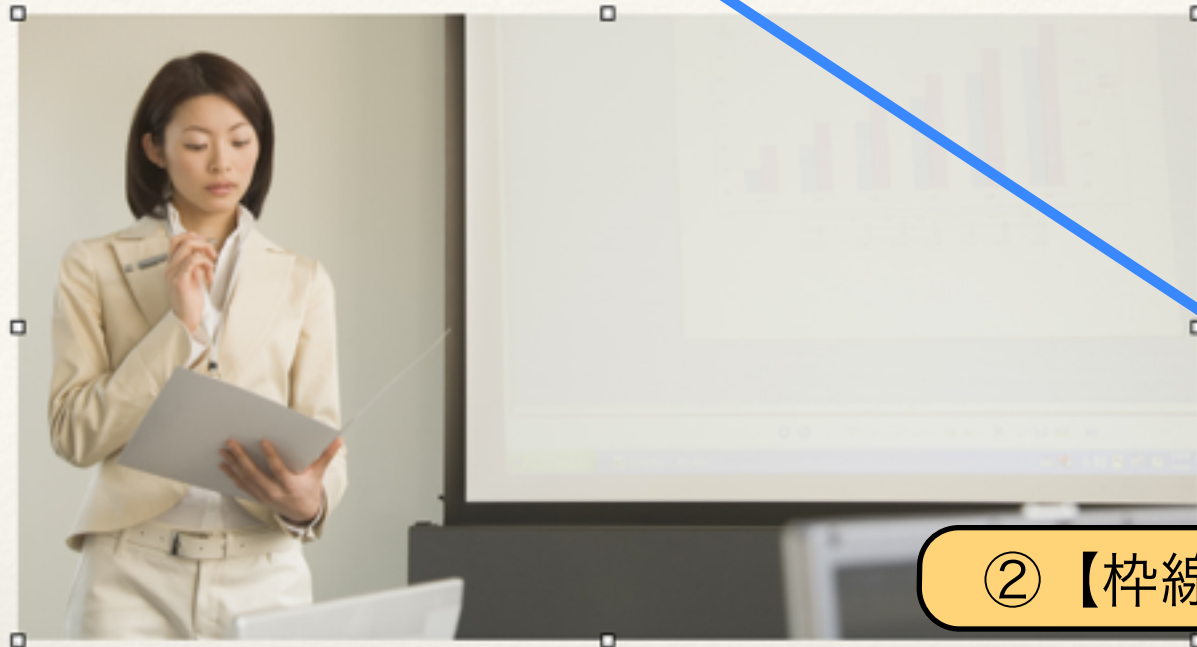
反射

不透明度

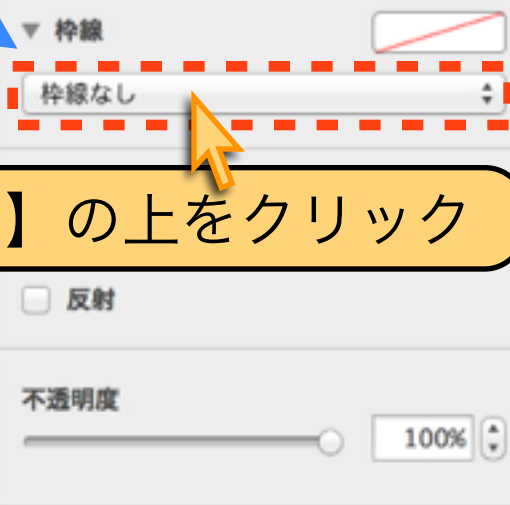
100%



① 【枠線】の詳細設定メニューが表示されました



② 【枠線なし】の上をクリック

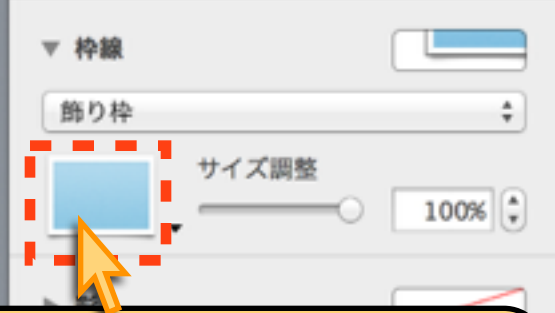


① 選択メニューが表示されました

② 【飾り枠】をクリック



①写真に「飾り枠」が自動的に追加されました



②【水色の四角】をクリックして他の飾り枠を表示します

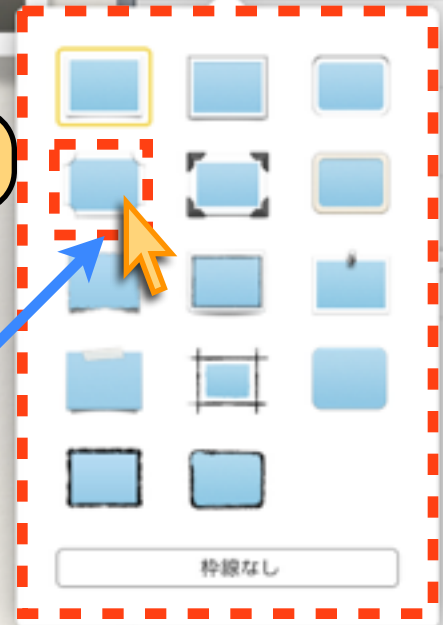




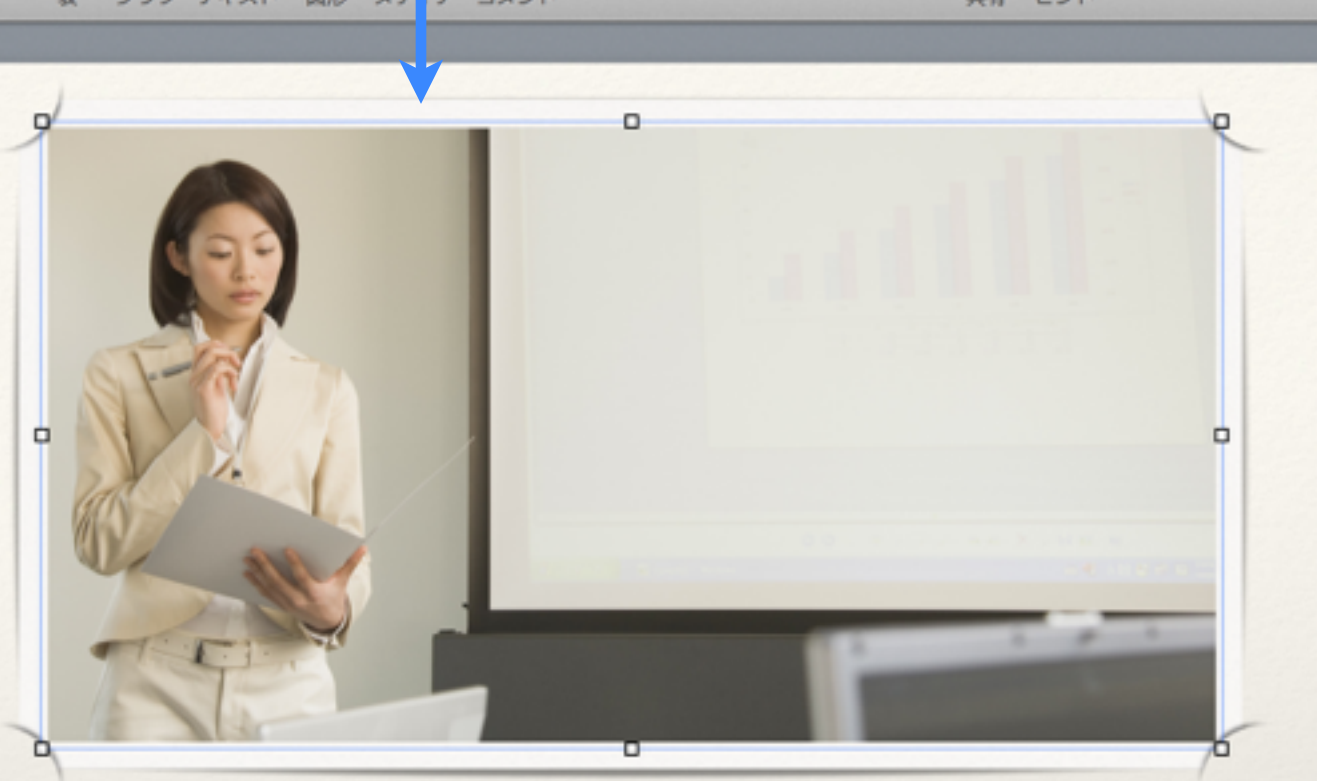
① 【飾り枠一覧】が表示されました

②好きな飾り枠をクリックして下さい

③今回は、こちらの飾り枠を選択します



①写真の「飾り枠」が変更されました



フォーマット アニメーション 設定

スタイル イメージ 配置

イメージのスタイル

▼ 枠線

飾り枠

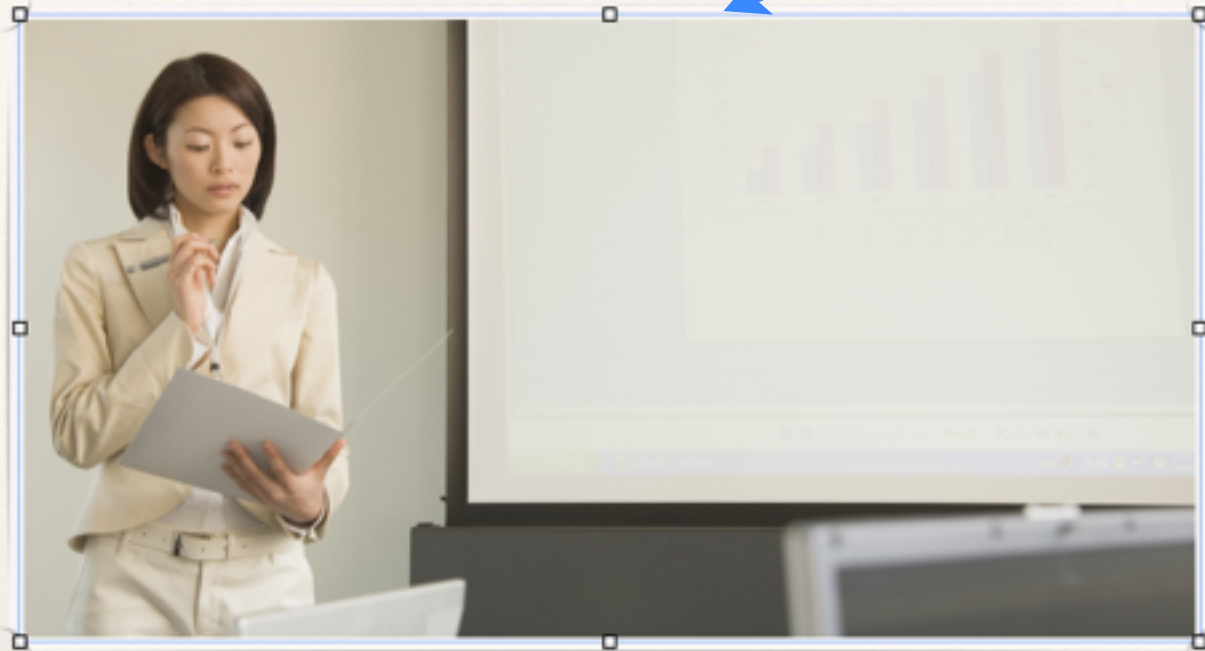
サイズ調整 100%

▶ 影

②【サイズ調整】は【飾り枠の太さ】を調整できます

③今回は、サイズ調整を50%に変更します

①今回は、サイズ調整を50%にして枠を細くします



スタイル    イメージ    配置

イメージのスタイル

▼ 枠線

飾り枠

サイズ調整 50%

▼ 影

なし

反射

不透明度

②写真の外側をクリックして確定です

①写真の「飾り枠」の設定は完了です

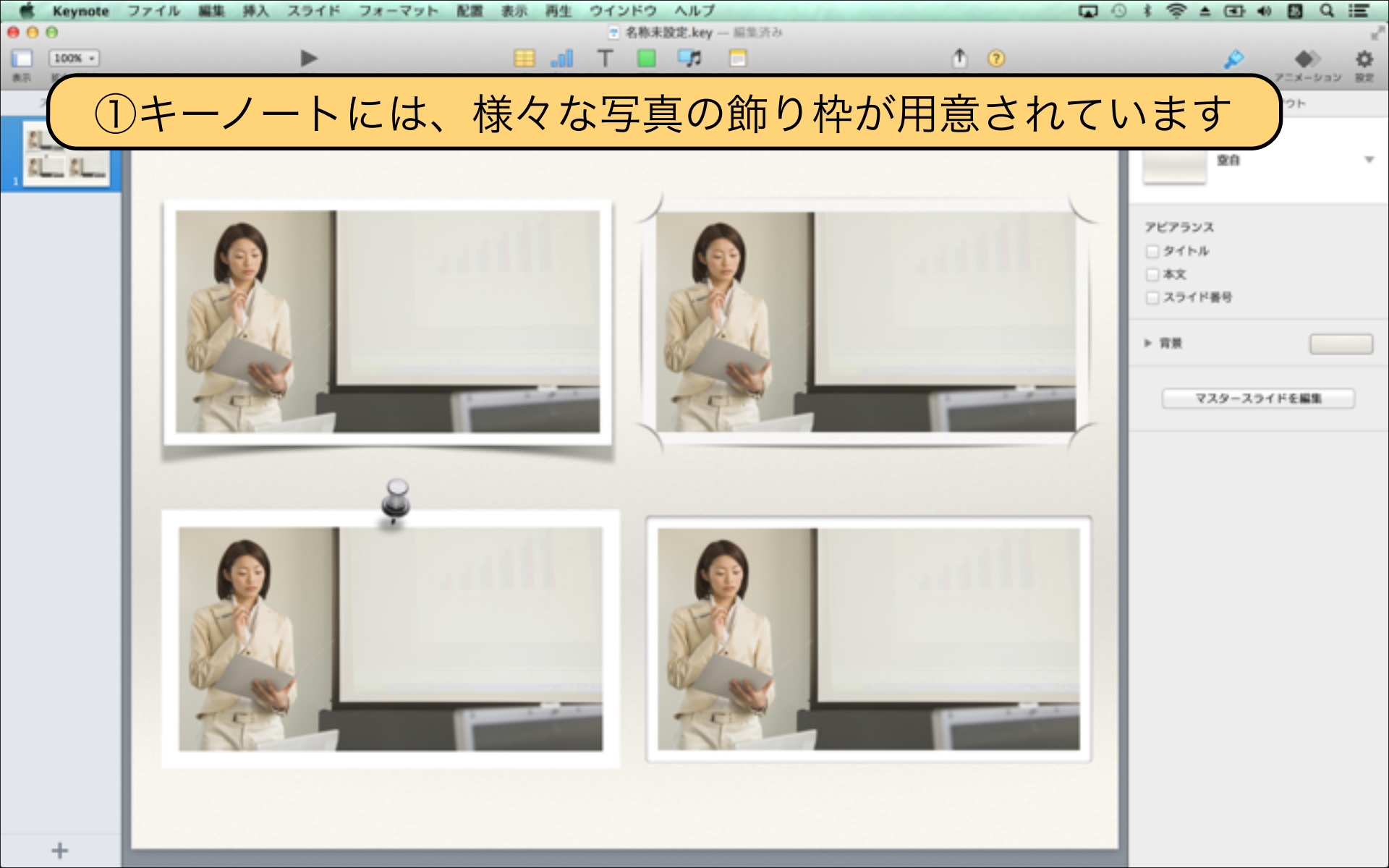


アピアランス

- タイトル
- 本文
- スライド番号

▶ 背景

マスタースライドを編集



①キーノートには、様々な写真の飾り枠が用意されています

## 【スライドを格好良く魅せるコツ①】



そのまま写真を貼り付けたスライドよりも、飾り枠等で一手間かけることで、デザイン性の高いスライドに仕上がります。写真の装飾機能は覚えておいて損はありません。





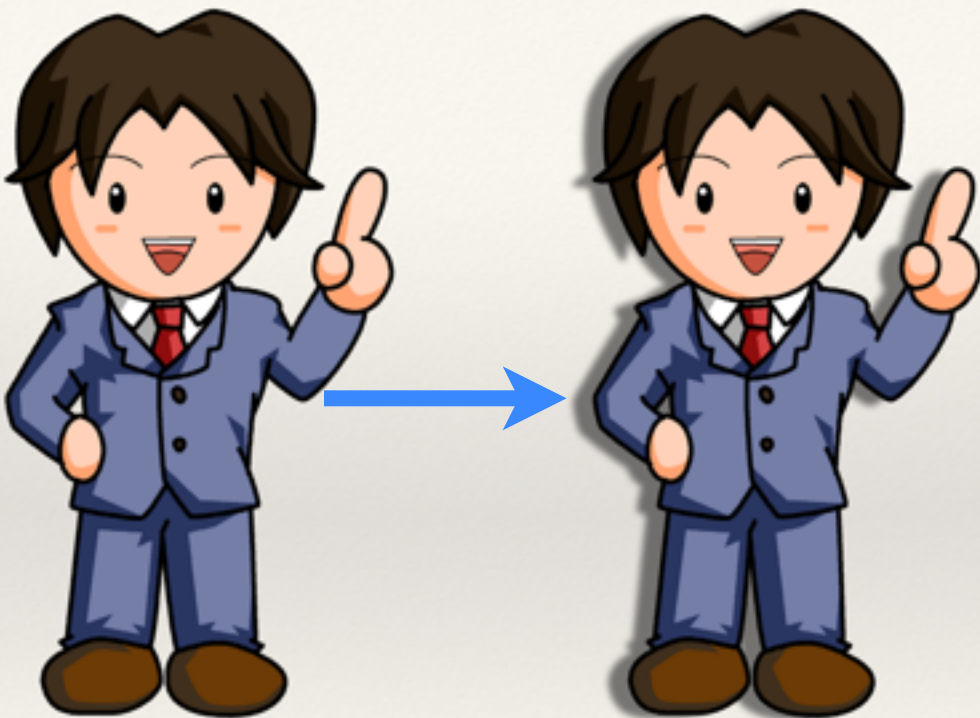
Lesson 3-4

画像に影を付ける

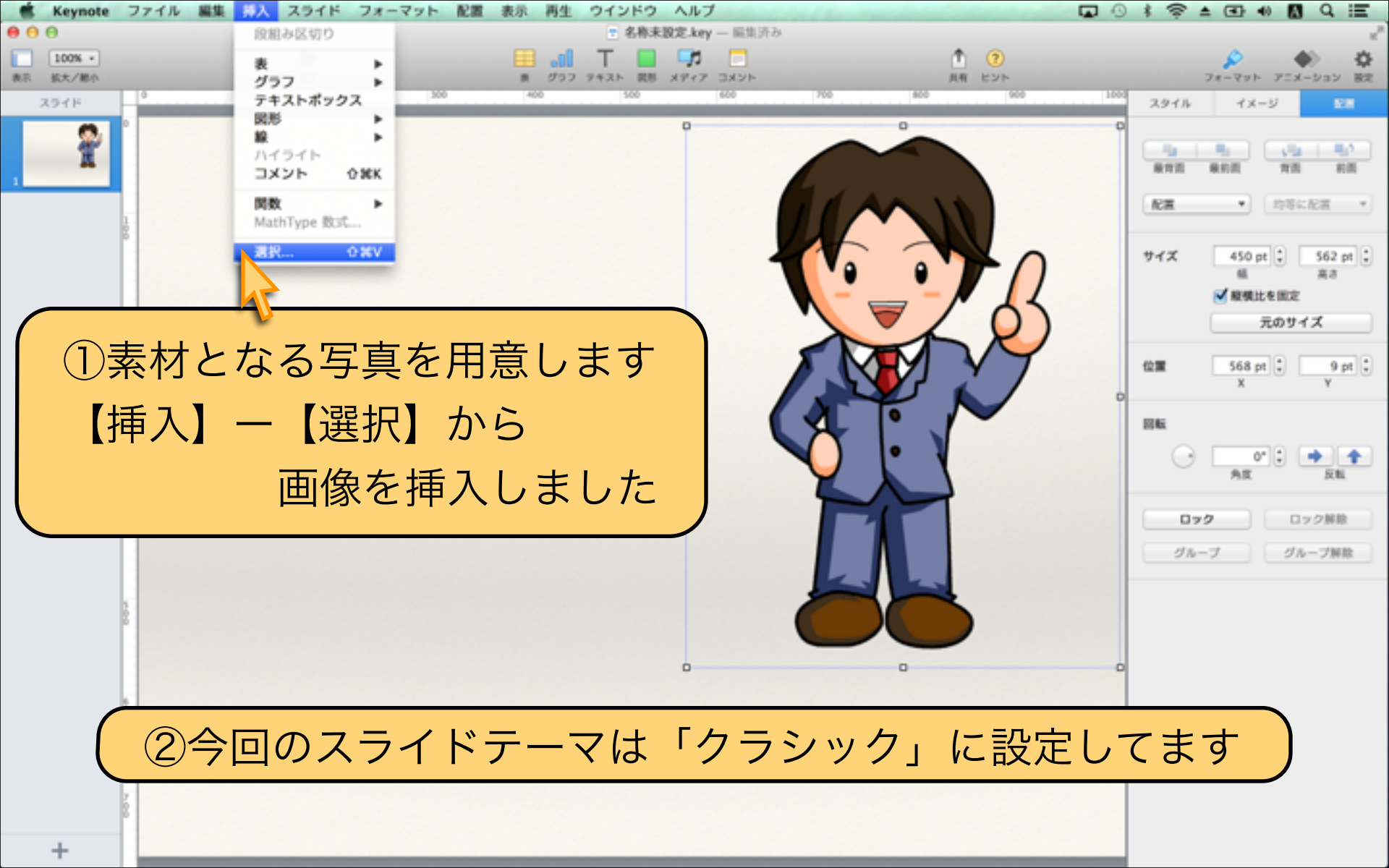
[keynote-study.com](http://keynote-study.com)



今回は【画像に影を付ける】手順を紹介します



【影】の追加することで、立体的な表現ができます



①素材となる写真を用意します  
【挿入】－【選択】から  
画像を挿入しました

②今回のスライドテーマは「クラシック」に設定してます



① 画像をクリックで選択

② 【スタイル】 タブをクリック

③ 【影】 をクリック

① 【影】の詳細設定メニューが表示されました



スタイル    イメージ    配置

なし

イメージのスタイル

枠線

影

不透明度 100%

Detailed description: This block shows the right-hand side of a software interface. At the top, there are three tabs: 'スタイル' (Style), 'イメージ' (Image), and '配置' (Layout). Below the tabs, there are two rows of image thumbnails, each showing a cartoon character in a blue suit. Underneath the thumbnails is the text 'イメージのスタイル' (Image Style) with two dots below it. Further down, there are two expandable sections: '枠線' (Stroke) and '影' (Shadow). The '影' section is expanded, showing a dropdown menu with the text 'なし' (None). A red dashed box highlights this dropdown menu. Below the dropdown menu, there is a slider for '不透明度' (Opacity) set to 100%.

② 【なし】の上をクリック



①【影の選択メニュー】が表示されました



スタイル    イメージ    配置

イメージのスタイル

▼ 影

- ✓ なし
- ドロップシャドウ
- コンタクトシャドウ
- 曲線シャドウ

②好きな影の種類をクリックして下さい

③今回は【ドロップシャドウ】を選択します

①画像に「ドロップシャドウ」が追加されました



②影の微調整は、詳細設定の項目で行います

③画像の外側をクリックして確定します





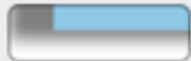
イメージのスタイル



▶ 枠線

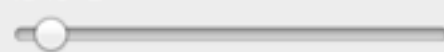


▼ 影



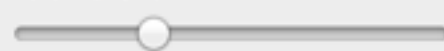
ドロップシャドウ

ぼかし



5 pt

オフセット



15 pt

不透明度



50%

角度：



190°



① 今回の影の微調整は

「ぼかし . . . . 5pt」

「オフセット . . 15pt」

「不透明度 . . . 50%」

「角度 . . . . . 190°」

に設定しました





①影の設定は完了です

次に、影を調整するポイントを紹介します

【ポイント①】 「影を追加する場合は統一する」  
下のイラストと写真では、影の角度がバラバラです。  
不自然にならないように、影の角度を統一しましょう。



影の角度 =  $190^\circ$



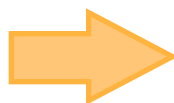
影の角度 =  $190^\circ$

## 【ポイント②】 「オフセット」

影の距離が離れることで、写真が浮き上がって見えます



オフセット【3】に設定



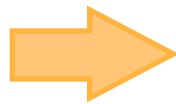
オフセット【10】に設定

### 【ポイント③】 「ぼかし」

影がぼやけることで、柔らかな光を表現できます



ぼかし【1px】に設定



ぼかし【10px】に設定

両方とも、オフセット【10】に設定されています

## 【スライドを格好良く魅せるコツ②】



そのまま画像や写真を貼り付けてしまうと、どうしても平面的に見えてしまいます。上手に影を追加して立体感を演出することでオシャレに魅せるのもテクニックの一つです。



Lesson 3-5 インスタントアルファ

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)



今回は【インスタントアルファ】を紹介します



【用語解説】 インスタントアルファとは？  
写真や画像の背景を透明化する機能です

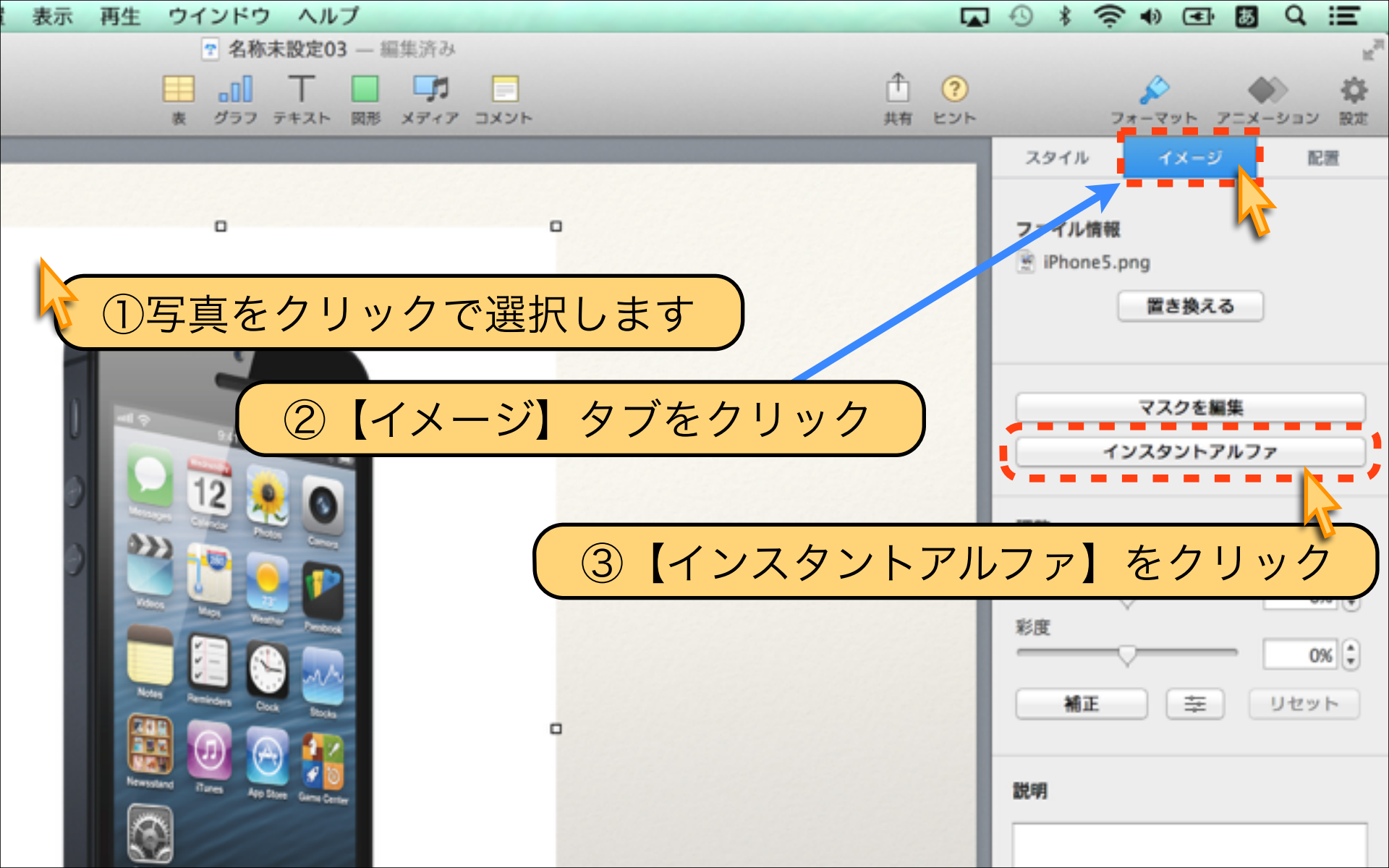


①素材となる写真を用意します

【挿入】 — 【選択】 から写真を挿入しました



②スライドテーマは「クラシック」に設定してます



① 写真をクリックで選択します

② 【イメージ】 タブをクリック

③ 【インスタントアルファ】 をクリック

①写真の下に【インスタントアルファ設定】が表示されます



カラーを透明にするには、ここをクリックします。  
類似のカラーを透明にするにはドラッグします。

リセット

終了

スタイル イメージ 配置

置き換える

マスクを編集

インスタントアルファ

調整

露出

0%

彩度

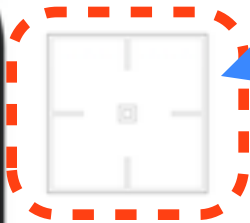
0%

補正

≡

リセット

説明



①写真の上にマウスで移動で  
カーソルが切り替わります

②透明にしたい色の上でクリック

③今回は「背景の白色を透明にしたい」ので  
白色の上でクリック&ドラッグします

置き換える

露出

0%

0%



①指を離さずにクリックしたままにすると  
「透明になる部分」が「青く表示」されます

②ドラッグすると  
「色の許容範囲 (%)」  
が表示され微調整できます

③指を離すと選択範囲が半透明になります



① 選択範囲が半透明になりました

② 再調整したい場合には  
再びクリック&ドラッグ  
で微調整が可能です

③ 【終了】をクリックで確定です

カラーを透明にするには、ここをクリックします。  
類似のカラーを透明にするにはドラッグします。

リセット

終了



①背景の白色が透明になり、インスタントアルファ終了です




②間違えた場合には、[commandキー]+[Z]でやり直しできます

## 【インスタントアルファを使うコツ】



背景を切り抜く機能ではなく、  
選択した色だけを切り抜く機能なので  
背景色が単色でシンプルな写真がベストです。  
複雑な背景の写真は難しいので注意が必要です。



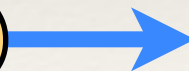
Lesson 3-6 写真を反射効果で演出

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

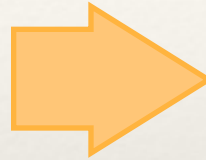
今回は、画像に【反射効果】を追加する手順を紹介します



①画像に【反射】を追加しました



①写真素材を用意します



②写真に背景がある場合には  
【インスタントアルファ】で  
背景を透明にします

③インスタントアルファで  
背景を透明にしました





①画像をクリックします

②画像インスペクタに切り替わります



① 【スタイル】 をクリックします

スタイル    イメージ    配置

イメージのスタイル

▶ 罫線

▶ 影

反射

② 【反射】 をクリック



①画像に「反射効果」が追加されました

▶ 種類

▶ 影

反射

50%

不透明度

100%

## 【反射の割合を調整する】

スタイル    イメージ    配置

イメージのスタイル

▶ 枠線

▶ 影

反射

50%

100%

① 【反射の割合】 をスライダーで調整します

②今回は「反射の割合を100%」に設定します

①反射の割合：50%



②反射の割合：100%



③反射の割合調整で  
反射面がはっきり  
表示されます





## 【POINT】

同じ写真素材でも背景の有無により、反射の映像効果が異なってきます。

「インスタントアルファ」と組み合わせて活用しましょう

## 【スライドを格好良く魅せるコツ】



画像の反射効果もクリック一つです。  
背景を切り抜いたり、影を追加したり  
Keynoteに、どんな機能があるのかを  
知っているのと知らないの差は大きいです。